

五島列島ジオパーク構想活動支援助成金
事業成果概要【公開用】

事業名	ジオサイト保全事業
事業の種類	調査・研究事業 / 普及・啓発事業 ※該当する事業に○を記載願います
所属・事業実施者	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻・高橋宏明, 池端雄太
事業期間	2022 年 2 月 22 日 ~ 2022 年 2 月 24 日
関連分野	地質学/普及・啓発/保全活動 ※事業の分野（地質学／考古学／普及・啓発／保全など）について記載願います
キーワード	リップルマーク・地質学・堆積学・地質構造 ※事業に関するキーワードを 3 点程度記載願います
対象地	漣の化石 〒853-0601 長崎県五島市三井楽町濱ノ畔国道 384 号線 ※事業対象の地区や地名（複数の場合は全て）を記載願います

1. 事業の目的

岩石や地層を人々に見てもらうために、地質学的に価値のある露頭を見やすく掃除・保全を行う。すでに、木々や草が茂っていることが多く、それらをもとに戻すことで、人々が行きやすく、行ったときにわかりやすいジオサイトを保全・清掃を行う。

2. 事業の内容

- ① 三井楽町にある漣の化石が見られる露頭(〒853-0601 長崎県五島市三井楽町濱ノ畔 国道 384 号線, 図 1)において, その周辺は草木で生い茂り、露頭には苔が生え、リップルマークの観察が分かりにくかった。長崎県の天然記念物に指定されている, この場所の露頭を保全・保護するための活動を 2022 年 2 月 22-24 日にかけて行った。



図 1 漣の化石の全体図

露頭周辺の草刈りを行い, 露頭そのものに生えている苔を落とす活動も行った(図 2)。



図 2 露頭沿いの苔を落とす作業

また看板にも苔が生えていたため、清掃を行った(図3)。

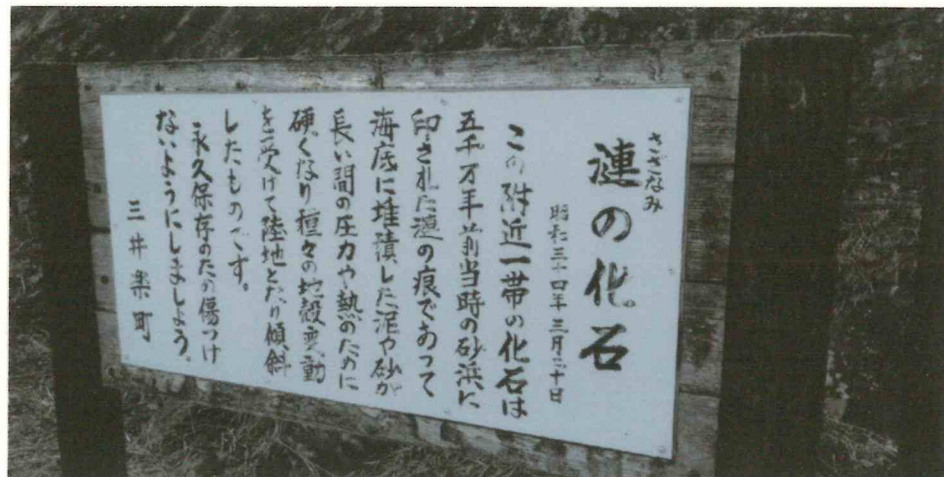


図3 看板の清掃

- ② 富江にある溶岩トンネル「井坑」(〒853-0213 長崎県五島市富江町岳)でも坑道入口は草木で生い茂っていた。落石の危険性があるため現在立ち入る事はできないが、この溶岩トンネルも長崎県の天然記念物に指定されている。珍しい生き物が観察され、日本一の溶岩トンネルについて人々が行きやすくて、わかりやすいジオサイトにするためにも、保全・保護するための活動を2022年2月23日に行った。具体的には井坑周辺の草刈りを行った(図4)。



図4 井坑における清掃作業

さらに溶岩トンネル途中の陥没した地点においても、除草作業を行った(図5)。



図5 陥没地点の除草作業

③ さらに2月24日には、追加で三か所の看板の清掃を行った。鬼岳展望所付近(〒853-0013 長崎県五島市上大津町2873-第1)の看板及び鑑瀬ビジターセンター(〒853-0024 長崎県五島市野々切町1333-3)付近の展望台の看板、溶岩トンネル「井坑」(〒853-0213 長崎県五島市富江町岳)の看板の清掃を行った(図6-10)。



図6 鬼岳看板の清掃



図 7 鑑瀬ビジターセンター周辺展望台の看板清掃



図 8 富江溶岩トンネル井坑の看板清掃①



図 9 富江溶岩トンネル井坑の看板清掃②



図 10 富江溶岩トンネル井坑の看板清掃③

3. 事業の効果

漣の化石及び富江溶岩トンネル井坑の周辺の草刈りを行う事で、人々が行きやすくなり、露頭そのものの観察が可能になった。特に漣の化石においては、層理面沿いに生えた苔を落とす事により、リップルマークの観察が容易になった。看板の清掃では、苔で文字が読みづらい箇所があったが、清掃前と比較しても比べ物にならないほど読みやすくなった。